



第30回全国報徳サミット
秦野市大会
令和7年11月1日(土)開催

第39回全国水環境保全
市町村連絡協議会全国大会
名水サミット in はだの
令和7年11月8日(土)開催



『大空を泳ぐこいのぼり(水無川河川敷)』

第1回(3月)
定例会議

令和7年2月21日から3月24日までの32日間の日程で
開催された第1回(3月)定例会議の審議結果などを
お知らせします。

令和7年度予算を原案可決

政策提言書を市長へ提出します

これまで総務、文教福祉、環境都市の3つの常任
委員会で調査研究を進めてきた政策提言を
令和7年5月末に市長へ提出します。
その模様は今後、YouTube や議会だより
8月発行号でも紹介していきます。

＜提言内容＞
総 務：地域防災力の高い魅力あふれる秦野に向けて
文教福祉：安心して子育てできる環境づくりについて
環境都市：人手不足の状況下における持続可能な地域経
済の活性化について

令和7年4月に開園した
ペコちゃんこども園ほりかわ

ペコちゃんこども園ほりかわの開園に当たり
保育士などの就労を促進するための補正予算を可決

議案第21号 令和6年度秦野市一
般会計補正予算(第11号)を定め
ることについて

▼提案理由
歳入歳出それぞれ7億5213
万円を追加するとともに、繰越明
許費の追加と変更、債務負担行為
と地方債の変更を行うもの。

▼補正予算の概要
○保育士等就労促進給付金
令和7年4月に開園予定のペコ
ちゃんこども園ほりかわにおいて
保育士などの採用が6年度中に進
められていることなどにより、申
請者数が当初の想定を上回る見込
みであるため、420万円を追加
するもの。

▼付託委員会
予算決算常任委員会

▼委員会での主な質疑
問 保育士等就労促進給付金に関
して、予算の積算方法はどのよう
か。また、ペコちゃんこども園ほ
りかわは、現在保育士が不足して
いるにもかかわらず、人員の確保
ができたことだが、採用に当
たり、工夫したことはあるか。

答 予算編成に当たっては、これ
までの実績に基づき積算をしてい
る。また、ペコちゃんこども園ほ

議案審議

..... 第2回(6月)定例会議日程

とき	開議時間	会議名	内 容
6月5日 木	午 前 9 時	本 会 議	開議・提案説明
6月9日 月	午 前 9 時	本 会 議	議案審議
	本会議終了後	委 員 会	議会運営委員会
6月11日 水	午前9時30分	常任委員会	総務、予算決算(総務分科会)
6月12日 木			文教福祉、予算決算(文教福祉分科会)
6月13日 金			環境都市、予算決算(環境都市分科会)
6月16日 月		委 員 会	議会運営委員会
6月17日 火	午 前 9 時	本 会 議	一般質問
6月18日 水			
6月19日 木			
6月20日 金			予 備 日
6月24日 火	午 前 9 時	委 員 会	議会運営委員会
	午前9時45分	常任委員会	予算決算(座長報告、委員会採決等)
	常任委員会閉会后	本 会 議	委員長報告・議案審議・散会

※会議の日程、時刻は変更することがあります。

議会だよりへの意見をお待ちしております

主 な 内 容

◆議案審議	1面
◆予算審査	2・3面
◆代表質問	4・5面
◆一般質問	5・6・7面
◆議決結果一覧表	8面

▼採決の結果
委員会 原案可決(賛成多数)
本会議 原案可決(賛成多数)

りかわについては、新たな社会福
祉法人として開園するという中で
期待値があり、ホームページも見
やすい内容となっていることから
十分な応募につながったものと思
えている。

令和7年度予算を慎重に審査

市長から提出された令和7年度予算案（一般会計予算、水道事業・公共下水道事業の2企業会計予算、国民健康保険事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業の3特別会計予算）は、3月3日の本会議において、予算決算常任委員会に付託し、同委員会の各分科会で所管ごとに集中的な審査を行いました。（以下、各分科会における主な質疑や意見、各会派などの討論を掲載）

総務分科会

所管：政策・総務・くらし安心・文化スポーツ・消防など

渋沢丘陵周辺土地利用構想策定事業費

問 渋沢丘陵周辺土地利用構想（仮称）は、国道246号バイパスの全線事業化を見据えた沿線の活性化と公共の福祉の増進につなげることを目的に策定することとだが、バイパスの全線開通までは時間がかかることが想定される中、どのような視点で構想を策定するのか。

答 国道246号バイパスの開通後に、土地利用の可能性が広がり、渋沢丘陵の魅力がさらに高まるようなイメージが示せるよう検討を進めるとともに、現状の土地利用においても支障がないよう調整していきたいと考えている。



渋沢丘陵利用方針マップ

ふるさと寄附金推進事業費

問 ふるさと寄附金の返礼品として、OMOTANコインの導入を検討することとだが、内容とスケジュールはどのようなか。

答 寄附者は、お店などの現地でふるさと納税ができ、その場でポイントを受け取り、速やかな決済が可能となる。令和7年度中に、現在展開しているOMOTANコインアプリを活用し、ふるさと納税ができるシステムの導入に向けて、事業者との調整を進めていく。

使えば使うほど
地域が元気になるお金



ふるさと寄附金の返礼品にOMOTANコインを

彫刻のあるまちづくり推進事業費

問 市制施行70周年記念事業において、県立秦野戸川公園などで実施する野外彫刻展のスケジュールはどのようなか。

答 ※マケット展の審査会で優秀作品に選ばれた入賞者に対して、令和6年度中に制作委託契約を結ぶが、制作期間として約6か月を要するため、野外彫刻の設置時期は7年11月下旬を予定している。



マケット展の様子

避難所環境整備事業費

問 避難所における暑さ・寒さ対策については、全国的な課題であり、冷暖房の確保は、避難者の快適さや健康を守るために重要なことと考えるが、本市の空調設備における準備の状況はどのようなか。

答 クールスポットの設置などで適切な温度調整ができるよう整備しているほか、市内企業と災害時

における冷暖房機材の供給に関する協定を令和5年5月に締結した。これらにより、避難所での寒暖差による疾病などの二次災害防止を図り、今後も避難所環境の向上に努めていく。



快適な避難所環境の整備を

消防団車庫待機室整備事業費

問 全国的に消防団員数が減少し、消滅の危機に直面している。その歯止めをかけるべく、存続に向けて最適化を図っているが、車庫待機室の用地の確保はどのようなか。また、消防団の統廃合の取り組みはどのようなか。

答 消防団車庫待機室は、総合計画に位置付け、消防団車庫待機室整備計画を定め、建て替えを実施しているが、既存用地の立地条件などを考慮し、判断している。令和7年度は、渋沢第6分団第5部の車庫待機室について既存用地での建て替えを予定している。また、統廃合は、欠員による影響がないため、現在計画はしていない。

総務常任委員会

- ◎ 中村 英仁
- 小山田良弘
- 大塚 毅
- 原 聡
- 相原 學
- 八尋 伸二
- 古木 勝久
- 今井 実

◎は委員長、○は副委員長

文教福祉分科会

所管：福祉・こども健康・教育

結婚支援事業費

問 令和7年度に予定している近隣自治体と合同で開催する婚活イベントの内容はどのようなか。

答 合同開催する自治体との調整や、事業者からの提案により決定していくが、広域で開催する効果を結婚支援にとどめることなく、再訪を促すプログラムで実施し、合同で開催する自治体双方にとってメリットとなる取り組みを検討していきたい。

要望 結婚や出産には多様な考えがあるため、庁内各課で連携し「女性と子どもが住みやすいまちづくり」につなげてほしい。



「女性と子どもが住みやすいまちづくり」を

いづも館管理運営費

問 こども館では、学習室の利用者数を統計開始以降、最多の利用者数と見込んでいたが、全体の利用者数は近年同程度で推移している。令和7年度に行う事業内容はどのようなか。

答 幼児を対象とした体操や紙芝居を行う「キッズおやこひろば」事業のほか、小学生を対象に、こども絵画教室などを行う予定である。また、6年度も好評だった工場見学バスツアーや消防士などの夏休みお仕事体験事業にも、力を入れていきたい。

第30回全国報徳サミット 秦野市大会開催経費

問 全国報徳サミットの開催は、市内外の多くの人に本市の魅力を伝える機会にすべきと考えるが、そのための取り組みはどのようなか。

答 ※報徳仕法に係る講演会開催のほか、安居院庄七や草山貞胤の足跡をたどるツアーや、親子で参加できる体験を交えた講座などを検討している。また、パネルディスカッションや基調講演をはじめ、アトラクションの実施なども予定している。



はだのこども館

みらいの学び舎づくり推進事業費

問 令和6年に策定した「みんなで考えるみらいの学校整備指針」に基づき、大根中学校区では学校の在り方について懇話会との意見交換を重ねているが、学校整備構想の策定に向けた7年度のスケジュールはどのようなか。

答 月1回を基本に懇話会との意見交換を引き続き行い、9月頃に懇話会から市へ提言書を提出し、その後、庁内での議論や市民の意見を聞きながら、7年度末までに構想を策定する予定である。

要望 大根地区の取り組みが、本市の今後の学校整備の参考として重要な役割を担うことになることと考える。財源に限りはあるが、可能な限り、子どもたちや地域の思いを聴きながら、行政も同じ方向を向いて整備してほしい。



学校施設の在り方の協議を進めている大根中学校

特定健康診査等事業費

問 特定保健指導の利用勧奨通知を外部委託で作成することとだが、期待される効果はどのようなか。

答 従来は対象者全員に同様の内容を送付していたが、対象者ごとに、過去3年間の診査結果をグラフで「見える化」し、生活習慣病の改善アドバイス盛り込んだ通知を作成することで特定保健指導の利用を促進したいと考えている。



報徳思想を唱えた二宮尊徳

文教福祉常任委員会

- ◎ 福森 真司
- 間地 薫
- 石川 潤
- 桑原 昌之
- 中村 知也
- 川口 薫
- 小菅 基司
- 横溝 泰世

◎は委員長、○は副委員長

用語解説

※マケット…西洋美術用語で模型やひな型のこと。

※報徳仕法…二宮尊徳の教えに基づいて飢饉や災害で荒廃した農村を復興した政策のこと。

～ふるさと秦野の輝く未来に向けて挑み続ける予算 原案可決～

審査の詳細については、秦野市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。
令和7年第1回（3月）定例会議の会議録は、5月下旬からご覧いただけます。



環境都市分科会

所管：環境産業・建設・都市・上下水道など

地産地消推進事業費

問 地場農産物や農産加工品の経営安定などを図るため、地産地消の推進に取り組む団体に対して補助をするが、農産物が適正な価格で取り引きされた場合、このような補助金は不要ではないか。

答 農産物の適正価格については、生産コストに見合った価格となっていない現状がある。一方、国において価格転嫁の仕組みづくりに向けた協議が行われており、本市としても、消費者の農業に対する理解を醸成し、農業者の所得や営農意欲向上を図っていく。



地産地消の推進を

森林資源活用拠点事業費

問 県内の伐木の製材を一手に引き受けようとする本事業は、事業用地を羽根地区に限定することなく、スマートインターチェンジ周辺を中心としながら、全市的に探すべきではないか。

答 本拠点は、表丹沢魅力づくり構想や地元要望などを踏まえて、森林資源活用拠点とすることに決めた経過があり、表丹沢エリア全体の中でも、唯一の大規模な遊休地であるため、本事業地での検討を進めていく。

地域ブランディング推進事業費

問 はだのブランドの認証方法な

どを見直し、秦野の魅力を生かしたブランド認証品を活用した戦略的な情報発信を行うとのことだが、具体的な取り組みはどのようなか。

答 コンセプトを「丹沢の杜、名水のまち」と定め、イメージを強く想起させる秀逸な商品ブランド品として認証する。また、OMOTANの公式インスタグラムで発信するほか、市内での※ポップアップ展示販売を行うなど、効果的なプロモーションを図っていく。



はだのブランドロゴマーク

空家等対策事業費

問 空き家の活用促進や適正管理の補助金は令和7年度までの実施となつているが、今後の予定はどうか。また、解体費の補助は、防災や跡地の有効活用の観点から必要な支援であると考えがどうか。

答 6年度に実施した実態調査と意向確認アンケートの結果に基づき、7年度は本市における空き家の課題をよく精査した上で、解決策などを検証し、解体費の補助を含めた検討を進めていく。

駅前広場等管理費

問 秦野駅南口広場に屋根を設置することのだが、その概要はどのようなか。また、秦野駅以外の3駅についても障害者等乗降場から駅舎まで屋根を設置する必要があると考えるが、今後に向けた取り組みはどのようなか。

答 誰もが利用しやすい駅前広場とするため、障害者等乗降場から南口歩廊までの動線上に屋根を設置する。また、ほか3駅についても、計画的に整備を進め、利便性の向上を図っていく。



秦野駅南口広場

「おいしい秦野の水」販売促進費

問 市制施行70周年は「おいしい秦野の水」を市内外へ周知する絶好の好機と考えるが、販売状況と取り組みはどのようなか。

答 令和6年度の実績は、2月時点で約19万3千本と、前年比約8%の増で、好調に推移しており、はだのふるさと大使6人の直筆メッセージが入った記念ボトルも販売している。今後も、市内にとどまらず、市外にも販路拡大の取り組みを進めていく。



おいしい秦野の水

環境都市常任委員会

- ◎ 大野 祐司
- 田中めぐみ
- 伊藤 大輔
- 吉村 慶一
- 風間 正子
- 高橋 文雄
- 阿蘇 佳一

◎は委員長、○は副委員長

討論

こんな理由で、賛成 or 反対
令和7年度一般会計予算案について、各会派などが賛否を表明し、その理由を述べました。（討論者の文責により、要旨を掲載しています。）

志政会

賛成

予算の多くは適切に計画、積算していると評価でき、賛成するが、健康福祉とICT教育の支出増加を懸念する。特に新型コロナワクチンの影響やICT教育の弊害が顕著だが、国の対応が遅れている。未来を担う子どもたちを守るために適切な施策の見直しを求める。はだのスポーツレジャ計画は拙速なため、市民の利益を確保するよう指定管理者との調整を求める。本庁舎の建て替えは、耐用年数を踏まえ、不要な改修費用を抑えた早期の計画策定を要望する。脱炭素政策に関しては、国際情勢を注視し、国の施策を盲信せず、科学的知見を基に慎重に進めるべきである。市民の税金が無駄にならないよう適切な配分を求める。

ともにつくる秦野

反対

新東名高速道路の全線開通や秦野丹沢サービスエリアの開設を目前に、まちの活力創出に向けた投資も重要であると認識している。しかし、今は何よりも災害対策や老朽化するインフラの整備、教育、福祉、農業など、日々の暮らしに直結し、市民一人一人が安心・安全に笑顔で毎日を送ることができ

る事業にこそ積極果敢に投資をすべきと考え「議案第1号・令和7年度秦野市一般会計予算を定めること」に反対する。

公明党

賛成

予算規模は増えたが、使途は適切であるので、一定の評価をする。施政方針の中に「女性と子どもが住みやすいまちづくりを進める」とあり、我々会派の考えと一致す

会派一覧表（上から会派結成届出順）

◎は代表者

志政会（7人）

- | | |
|------------|-----------|
| ◎小菅 基司（6期） | 今井 実（5期） |
| 高橋 文雄（12期） | 相原 學（3期） |
| 風間 正子（8期） | 中村 知也（1期） |
| 川口 薫（6期） | |

創和会・市民クラブ（7人）

- | | |
|------------|-----------|
| ◎福森 真司（2期） | 八尋 伸二（4期） |
| 横溝 泰世（12期） | 小山田良弘（1期） |
| 阿蘇 佳一（10期） | 大塚 毅（1期） |
| 大野 祐司（7期） | |

ともにつくる秦野（4人）

- | | |
|------------|-----------|
| ◎古木 勝久（4期） | 桑原 昌之（1期） |
| 原 聡（2期） | 田中めぐみ（1期） |

公明党（3人）

- | | |
|------------|----------|
| ◎中村 英仁（2期） | 間地 薫（1期） |
| 横山むらさき（5期） | |

会派に所属しない議員

- | | |
|-----------|----------|
| 吉村 慶一（8期） | 石川 潤（1期） |
| 伊藤 大輔（2期） | |

会派とは・・・

議会内に結成された議員の同志的集合体のことを指します。秦野市議会では、会派の結成要件を所属議員数2人以上としています。

各会派などの討論



視聴できます。

施政方針に対する

代表質問

定例会会議初日に示された市長の施政方針や令和7年度予算に対して行う「代表質問」は、2月27日、28日の2日間にわたり、各会派の代表5人により行われました。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)



ふるさと秦野のさらなる発展を

一 安全・安心で快適な教育環境づくりの推進について
問 学習環境の改善は喫緊の課題。小・中学校各施設へのエアコン設置の考えと今後の展望はどうか。
答 国から体育館の空調整備率95%を目指す方針が示され、防災面からも優先度は高いので、総合計画後期基本計画の中で検討する。
要望 今後5年以内に全校の体育館に空調設備を設置してほしい。

二 子どもたちの生きる力を育む教育環境づくりの推進について
問 生きる力を育む取り組みで重視する点としたいはどうか。
答 先人たちのレガシーを大切に、秦野への誇りと愛着が深まるよう、生きる力を育んでいく。
要望 デジタルによる効率的な学習とともに創造力や優しい心を養う教育を進めてほしい。



将来に夢と希望を抱く笑顔あふれる秦野の推進
創和会・市民クラブ 小山田良弘

三 地域特性を生かした都市農業の振興について
問 農家を守る政策はどうか。
答 6次産業化など、付加価値を高める取り組みを支援するほか、農業が魅力的になるよう取り組み。
要望 国と連携して農業の仕組みの見直しを進めてほしい。

四 市民に信頼される持続可能な行政運営の推進について
問 職員が一丸となり職場改善に取り組むべきだが、考えはどうか。
答 職員が考えた事業や政策に耳を傾けるなど、未来志向で仕事に



より安心して暮らせるまちづくりの推進を



市民の未来を守護せよ

志政会 中村 知也

一 市長の政治姿勢について

問 令和7年度は全国報道サミットを開催し、報道仕法の検証を通じて、人づくりに必要な教養を学ぶとのことだが、本市で報道仕法に基づいて行っている取り組みはどうか。
答 幹部職員に対して、報道思想の「至誠」を基本として、「勤労・分度・推譲」を実行するという考えを念頭に置き、まちづくりを進め、人づくりにつなげるよう伝えている。

要望 誇りある東洋の思想哲学の普及と実践をしてほしい。

二 ワクチン接種に係る取組について
問 令和6年3月定例会議で可決した「新型コロナウイルス感染症の後遺症及びワクチン接種の副反応による影響の調査を求める決議」に対する現在の市の考え方や今後の取り組みはどうか。
答 老朽化が進むはだのこども館の機能移転を念頭に置き、世代や



ワクチン接種による健康被害調査の実施を

三 秦野駅北口周辺にぎわい創造推進事業の本格始動について
問 県道705号沿道に建設予定の多世代交流施設をにぎわい創造につなげていくための取り組みはどうか。
答 老朽化が進むはだのこども館の機能移転を念頭に置き、世代や

議長公務(3月~4月)

より詳細な公務日程は、市議会ホームページでも公開しています。

横山 ひろさき議長



- 3月 26日(水) 令和7年市民による森林づくり実行委員会第1回会議
- 4月 10日(木) 2025年度秦野・坡州友好協会定期総会
- 11日(金) 2025年度秦野パサデナ友好協会定期総会
- 15日(火) 2025年度秦野市国際交流協会定期総会
- 16日(水) 第214回神奈川県市議会議長会定例会
- 17日(木) 第91回関東市議会議長会定期総会
- 20日(日) 第69回秦野丹沢まつり

第1回(3月)定例会議の動き

○2月

- 21日(金)・第1回定例会議開議
- 27日(木)・本会議(代表質問)
- 28日(金)・本会議(代表質問)
・代表者会議・議会運営委員会

○3月

- 3日(月)・本会議(議案審議)
- 4日(火)・予算決算常任委員会(令和7年度予算・総務分科会)
- 5日(水)・予算決算常任委員会(令和7年度予算・文教福祉分科会)
- 6日(木)・予算決算常任委員会(令和7年度予算・環境都市分科会)
- 7日(金)・総務常任委員会
・予算決算常任委員会(補正予算・総務分科会)
- 10日(月)・議会運営委員会
・文教福祉常任委員会
・予算決算常任委員会(補正予算・文教福祉分科会)
- 11日(火)・環境都市常任委員会
・予算決算常任委員会(補正予算・環境都市分科会)
- 12日(水)・議会運営委員会
- 13日(木)・本会議(一般質問)
- 14日(金)・本会議(一般質問)
- 18日(火)・本会議(一般質問)
- 24日(月)・議会運営委員会
・第1回定例会議散会
・予算決算常任委員会
・議会報編集委員会

立場を超えたさまざまな人が、日々の学びや、子育てなどの暮らしのテーマを通じて集い、会話や活動を通じて交流が生まれ、地域に新しい活力を育む施設として整備したいと考えている。

要望 施設の老朽化が進んでいる文化会館や図書館などの文化施設や市役所の庁舎を、市民が利用しやすいように中心市街地に移転し、複合化して建て替えるべきである。広い視野で公共施設の複合的な整備を検討してほしい。

四 基幹系システムの標準化・共通化への対応について
問 基幹系システムの標準化・共通化の具体的な内容はどうか。
答 標準化は、自治体ごとに異なる基幹系システムを全国統一の仕様へ移行することであり、共通化は、国が用意するデータセンターを共同利用することである。

要望 有事の際に、国民のデータが一連托生となる恐れがある。共通化に関しては安全性についてよく検討してほしい。

五 総合計画前期基本計画に掲げた施策について



市民が利用しやすい公共施設の整備を

問 現在の庁舎を耐用年数まで使用することを前提に、建て替えの検討を進めるようだが、具体的な見直しはどうか。
答 公共施設保全計画で定めている耐用年数の令和25年を目途に更新ができるよう、準備を進めていく必要がある。実績がある他の自治体の事例なども参考にしながら、機能的で利便性の高い庁舎への更新に向けて、慎重に検討を進める。

要望 今後想定される維持補修費と更新にかかる建築費用のバランスを見ながら、広い視点を持ち、適切な時期に庁舎の建て替えを実現してほしい。



市民一人一人の安全・安心を守り 笑顔で暮らせる政策の実現を

ともにつくる秦野 桑原 昌之

一 健康で安心して暮らせるプロジェクトについて

問 上下水道の耐震化率、ならびに今後の取り組みはどのようなか。

答 水道の基幹管路の耐震化率は、55・9%を見込み、今後も災害に強い施設整備に取り組む。

二 未来を拓く子育て・教育プロジェクトについて

問 市民総ぐるみによる学校給食の推進に関する事業効果の検証はどのようなか。

答 児童や生徒、保護者、生産者、商業者、地域のほか、教育委員会、協議や学校給食運営審議会など、多くの人から意見をもらった上で検証していく。

要望 何よりも大切なのは「子どもたち一人一人の声」である。全ての児童・生徒によるタブレット端末を活用した学校給食アンケート



市民が住みやすく、 安心・安全な秦野の実現を

公明党 中村 英仁

一 水道・下水道施設の耐震化について

問 埼玉県八潮市の道路陥没で市民から不安な声が届いている。本市は道路の空洞調査などを行っているが、道路陥没を未然に防ぐための対応はどのようなか。

答 道路の空洞調査は、直近で令和6年度に実施しており、2か所の補修工事を実施した。また、八潮市の事故を受け、緊急点検を行い、異常はないことを確認した。今後も適切な維持管理をしていく。

二 秦野駅北口周辺にぎわい創造推進事業の取組について

問 県道705号線沿いに整備を予定している多世代交流施設について、今後の展望はどのようなか。

三 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクトについて

問 渋沢丘陵周辺土地利用構想(仮称)の策定について、関連する諸計画との整合性は、どうか。

答 総合計画や都市マスタープラン、みどりの基本計画、工業振興基本計画、渋沢丘陵活用方針などの諸計画との整合を考慮し、相互に補完し合う形で、一貫した土地利用の方向性を示す予定である。

四 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクトについて

要望 羽根森林資源活用拠点(仮称)について、操業後の20年間で約185億円の効果を見込む算定根拠は不確実であり、わざわざ最大15億円を投じて土砂災害特別警戒区域内に拠点を作る必要はなく、不要不急の事業を見直してほしい。

答 さまざまな世代の暮らしや活動に利用される施設を整備し、交流や情報発信の拠点にしたいと考えている。令和6年度には、市民検討会を設け、意見を聞いた。今後はそれらの意見を基に、内容や規模、施設整備や運営手法の検討を進めていく。

三 誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現について

問 高齢者人口が増加する中、介護職員が足りない状況である。人材を確保するに当たり、ケアマネジャーの処遇改善に対する支援が必要だと考えるが、取り組み状況はどのようなか。

答 働く環境の実態などを把握するため、秦野市介護支援専門員協

五 市民と行政が共に力を合わせて創るまちづくりについて

問 広報・広聴活動の充実とは、具体的にどのようなか。

答 広報はだのを中心に、SNSなども活用しながら、情報発信している。また、わたしの提案や懇談会など、幅広い年代からの意見聴取に取り組んでいる。

要望 秦野市広報広聴規則に基づき、広報はだのを市内全区域・全世帯に配布してほしい。また、本来の広聴活動とは、単に丁寧な意見聴取にとどまることではない。市民の行政参画を促し、かつ市民の声がしっかりと政策に反映されるよう、積極的かつ大胆な見直しを求める。



幅広い世代の声を反映した政策の実現を



福祉分野における積極的な処遇改善を

一般質問

一般質問は、3月13日、14日、18日の3日間で行われ、15人の議員が登壇しました。
一般質問は5面から7面に掲載しています。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)
なお、各議員の記事にある二次元コードを読み込むと、一般質問の動画を視聴できます。(通信費は利用者の負担となります。)



かなちゃん手形の値上げ 利用者はどうなるのか

無所属 石川 潤

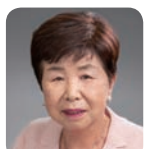
一 OMO-TANコインについて

問 導入と同時に行ったプレミアムポイントバックキャンペーンの利用状況と効果はどのようなか。

答 令和7年1月末時点でアプリダウンロード数は約3万1500人、キャンペーンによる決済総額は8億1400万円で、地域消費の促進に寄与した。

二 空家対策について

問 さまざまな発生予防策を講じる中で、相続人がいない持ち家が空き家となった場合、市の対応の一つに相続財産清算制度があると思うが、内容はどのようなか。



オール秦野で 乳幼児教育の取り組みを

志政会 風間 正子

一 災害ボランティアについて

問 令和6年8月の大雨被害で設置した災害ボランティアセンターは、社会福祉協議会、青年会議所と協定を締結して以降、初めての設置だが、課題や今後の対応策はどのようなか。

答 今回は局所的な災害で広く募集を行わなかったが、今後は災害規模に応じた組織体制、ボランティアの受け入れ体制が必要となる。課題を整理し、マニュアルの見直しや平時の訓練に取り組んでいく。

二 空家対策について

問 さまざまな発生予防策を講じる中で、相続人がいない持ち家が空き家となった場合、市の対応の一つに相続財産清算制度があると思うが、内容はどのようなか。

答 利害関係人が裁判所に財産を清算する人の選任を申し立て、選任された人が財産を処分して清算する制度であり、空き家は首長が利害関係人となることもできる。

三 乳幼児教育センターについて

問 園小の接続強化などを目的に、令和6年4月に設置したが、民間園との連携はどのようなか。

答 はだのつ子育ちと学びの架け橋会議を開催し、民間園と情報共有の時間を設け、小・中学校管理職との連携協議を行っている。

問 介護・高齢者福祉について
物価高騰や訪問介護の介護報酬の引き下げ、また要介護者の増加で、介護事業者の運営は厳しい現状におかれている。本市の介護・高齢者福祉では何を課題と捉え取り組んでいるのか。

答 介護予防事業で介護の需要を抑制していくこと、さらに介護サービスの提供体制を充実させ、介護人材を確保することを最優先の課題としている。

二 災害対応について

問 弾道ミサイルを想定した避難訓練の目的と課題はどのようなか。

答 弾道ミサイルの飛来する可能性がある緊急情報を受けた際の行動などについて、市民の理解を深めるために実施したが、Jアラートにより情報が伝達されることを知らなかったとの声もあった。

三 公共交通の在り方について

問 かなちゃん手形の制度変更に対する市の考えはどのようなか。

答 制度変更の目的は、キャッシュ



介護人材の確保と 介護崩壊の未然防止を

ともにつくる 古木 勝久

一 介護・高齢者福祉について

問 物価高騰や訪問介護の介護報酬の引き下げ、また要介護者の増加で、介護事業者の運営は厳しい現状におかれている。本市の介護・高齢者福祉では何を課題と捉え取り組んでいるのか。

答 介護予防事業で介護の需要を抑制していくこと、さらに介護サービスの提供体制を充実させ、介護人材を確保することを最優先の課題としている。

要望 今、介護人材の確保が極めて難しいと指摘されている。課題を的確に捉えて、介護崩壊や介護難民が出ないような対策を講じてほしい。

二 図書館の管理運営について

問 民間のノウハウを生かすためユレス化やデジタル化の推進であり、1年券は1万800円から5万4000円となる。初期費用が高額となるが、通年購入や払い戻しが可能となるなど、利便性が向上する。一般定期券と比べ、割安な設定となっており、高齢者のバス利用を引き続き支援していくものと考えている。



現場レベルでの保育の質の担保を



介護人材の確保を最優先に

一般質問

(一般質問は5面・7面にも掲載)



創和・市民 阿蘇 佳一

小売り業事業所数が平成21年の1240から939へ



一 子どもの命と未来について

問 ①小・中・高校生の自殺者は最多の527人、令和6年1月から8月まで20歳未満の凶悪犯検挙者1万3492人だが対策は、②厚木市、南足柄市が学校給食費の無償化を実施しているが、どうか。

答 ①いじめなどの問題行動の未然防止、道徳教育の改善に市全体で取り組む、②国は無償化に向けた予算確保などの準備段階に入ったと受け止めている。

二 安全で安心なまちについて

問 ①能登半島地震の教訓として、自治体の備蓄状況公表の義務付けは、②国道246号新善波トンネルのり面が崩壊、復興の見通しは、

答 ①約170種類の食料や飲料水などを備蓄。市民や関係機関と最新の状況を共有できるよう努める。②国土交通省横浜国道事務所と令和7年1月から本復旧工事に着手し、12月末までを予定。



公明 党 間地 薫

誰もが安心のまちづくりを



一 子育て施策について

問 出生数全体の約7人に1人が2500名の低出生体重児と言われている。母子手帳より細かに成長を記録できる「リトルベビーハンドブック」の配布状況と搾乳マークの掲示はどうか。

答 令和6年度は5人へ配布した。搾乳マークは市内関係部署に掲示を周知し、今後は市内商業施設にも協力を呼びかけていく。

要望 搾乳マークがあまり知られていないため、説明の文言を足し

て掲示してほしい。

二 防災について

問 在宅や車中泊避難者への対策と妊婦への対応はどうか。

答 総合防災情報システムで避難所外避難者の情報管理を行い、避難者と同様の支援が受けられるよう準備している。また、災害時の医療助産活動に関する協定を令和7年度早々に医師会とアクアベルクリニックと締結していく。

要望 児童・生徒が自分の避難場所や行動が確認できるように学校でも防災マップを活用してほしい。



地域と連携し、駅周辺の再生を



志 政 会 高橋 文雄

健康づくりにスポーツの振興を



一 秦野駅北口周辺のにぎわいづくりについて

問 水無川と小田急線に挟まれた地域についても、土地利用すべきと考えるがどうか。

答 南側の地域は、自然環境や地域資源に恵まれ、非常に価値のある場所として認識している。まずは、関係権利者との情報共有に努めていきたいと考えている。

二 はだの丹沢水無川マラソン大会について

問 ①令和6年の第20回記念大会、②7年の市制施行70周年記念大会のそれぞれの内容はどうか。

答 ①渋井陽子氏を迎えたほか、参加賞として、例年のものに加え、記念タオルを参加者全員に配布した。②ファミリーで満喫できる大会となるよう、実行委員会と協議しながら進めていく。

要望 AEDの細かな配置など、ランナーの健康に向けた配慮がある一方で、ハーフにおける5キロポイント



ニーズに合った産後ケアの充実を

三 子どもたちの居場所について

問 学びの多様な学校についての見解と、フリースクールなどへの補助金はどうか。

答 視察や文部科学省から開校のプロセス、課題の助言を受け、調査研究をする必要がある。保護者の負担軽減策は、国や県、他市町の状況を確認し、調査研究を行っていく。



幅広い世代が継続的に楽しめるマラソン大会の運営を

三 市の花・なでしこについて

問 令和6年度の成果と、今後のなでしこの普及方法はどうか。

答 3千粒の種子の配布や、市役所前の苗120株を開花させることができた。今後は、公共施設や民間企業などに協力を呼びかけ、広く普及できるよう努めていく。

要望 なでしこは、市の花であるため、今後も増やすことができるよう、取り組みを進めてほしい。



ともにつくる 原 聡

食育を主権者教育の肥やしとせよ



一 援農ボランティアについて

問 現状と市民への周知方法はどうか。

答 令和7年2月末現在、ボランティアは147人、受け入れ農家は14軒登録されている。はだの市民農業塾基礎セミナーコースや、フルライフはだのが実施している就労説明会で周知している。

問 参加したいと思わせる援農の内容や登録者の拡大について、今後の考えはどうか。

答 登録当初は、比較的回り組みやすい収穫などの作業を行ってもらっている。また、JAはだの青年部などと連携し、より多くの農家に利用してもらえよう、若い



創和・市民 横溝 泰世

安心して暮らし続けられる地域社会に向けて



一 有機フッ素化合物(PFA)について

問 昨今、社会問題となっている有機フッ素化合物について、本市の調査結果と今後の取り組みは、どうか。

答 市内13地点で水質調査を実施した結果、暫定指針値以下となっており、安心して使用できる水となっている。今後も定期的な検査を実施し、安全な飲料水の供給に努めていく。

二 障がい者の就労支援について

問 令和7年10月から就労選択支援が始まるが、就労支援に向けた本市の対応は、どうか。

答 地域生活支援センターを中心に、就労支援の充実を図っている。関係機関と連携し、さらなる就労支援体制の充実に取り組んでいく。

三 地域コミュニティの今後に向けて



創和・市民 大塚 毅

休日夜間急患診療所の整備とOMOTANコインの分析速報



一 休日夜間急患診療所について

問 市民から年末年始の利用に不具合を感じたと聞いたが、利用状況はどうか。

答 年末年始の受診者数が令和5年度に比べ、約1.9倍増加した。問 日中の時間帯で単純計算すると2分に1人受診しているが、混雑緩和の取り組みはどうか。



創和・市民 阿蘇 佳一

二 中学校給食について

問 令和4年度に生徒に実施してから手法を変えて行ってきたアンケート調査のサンプル数などは、どうか。

答 保護者の試食会で実施し、5年度は2校で86件、6年度は7校で243件の回答があった。さらに、栄養士が学校に出向き、喫食の様子を確認しながら、生徒たちから生の声を聞いている。今後とも学校や校長会、給食審議会の意見も踏まえ、対応していく。

要望 全生徒と保護者が食育に関



より広範囲に援農ボランティアの周知を

二 OMOTANコインについて

問 野市休日夜間急患診療所等整備検討会の方針に基づき進めている。

問 ポイントバックキャンペーンの結果に係る見解はどうか。

答 利用者数は目標の倍以上で、加盟店舗数、決算額も目標を達成し、順調なスタートとなった。

問 キャンペーンが終了し、ユーザー数などの分析が重要であると考えますが、状況はどうか。

答 月ごとのアクティブユーザー数を把握しており、ダウンロード数は増加しているが、利用者数は減少している。



円滑な受診体制の構築を



地域コミュニティ再生に向けた環境づくりを



市民の安心・安全に直結する施設の整備を



市職員のモチベーションの向上に つながる人事評価を望む



創和・市民 大野 祐司

一 令和6年12月期人事評価の結果について

問 令和5年の「秦野市職員の期末手当及び勤勉手当の支給に関する規則」の改正に伴い、人事評価の運用についての改定を行っているが、6年12月期人事評価の結果の課題や対応はどのようなか。

答 人事評価の平均点は、105点満点中66・4点で、勤勉手当が加算される70点以上の職員は15・4%、減算される59点以下の職員は2・1%であった。一部の評価に偏りがあつたため、部局内での共有や研修を実施し、公平な評価となるよう取り組む。

二 教員採用試験の倍率低下の影響について

問 試験の倍率が低下しているが、神奈川県採用状況はどのようなか。また、本市の学校現場への影響や、その対応はどのようなか。

答 神奈川県では減少傾向に歯止めがかかってきたようだが、中学



減り続ける維持補修費で 市民の安心・安全を守るのか



ともにつくる 田中 めぐみ

一 教育施設について

問 令和7年度の学校施設に関する補修経費が削られている。当初要求した項目に対し、縮減などをしたものはどの程度あつたか。

答 予防保全として、小規模修繕を6件、大規模改修を7件、緊急対応用の修繕経費を要求したところ、小規模修繕は2件、大規模改修は5件となり、緊急対応用の修繕経費は満額確保できた。

要望 公共施設保全計画に必要な予防保全分の予算が確保されていない上、常勤職員4人、会計年度任用職員2人体制で維持管理に当たっており、他市と比べても十分とは言えない。災害時の避難所機能も踏まえ、追加の人員配置と予算を求める。

二 インフラ整備と公園について
問 適正な維持管理は、市民の安心・安全に直結すると考えるが、



庁舎建て替えはリース方式で 地元企業に発注を



無所属 吉村 慶一

一 庁舎建て替えの手法について

問 将来の人口減少とそれに伴う市町村合併(例えば平塚市・伊勢原市・二宮町・大磯町・中井町との合併)を考えると、本市の新庁舎は分庁舎になる可能性が高い。庁舎建て替えの手法は現在の教育庁舎に倣って、市内の建設会社が農協や信用金庫など市内の金融機関の融資を得て建てたものを、市が借り受ける方式を採用することが良いと思うがどうか。市町村合併などのさまざまな状況の変化に対応する柔軟性が生まれ、コストも



森林・林業を牽引する 一大拠点を秦野市に



志政会 相原 學

一 羽根森林資源活用拠点(仮称)について

問 この拠点を整備する必要性および、本市や神奈川県内に及ぼす整備効果はどのようなか。

答 現在、県内全体の年間丸太生産量約3万立方メートルのうち、秦野産木材は5千立方メートルと多くを占めている。拠点を整備されるとさらに5千立方メートルの生産拡大となり、県

道路整備および公園管理に対する課題はどのようなか。

答 市民要望の件数が年々増加し、内容も複雑化しているため、職員負担が増えている。また、物価高騰の影響により、工事規模が縮小している。今後も限られた予算の中で、市民の安心・安全につながるよう、適正な維持管理に努める。

三 公共施設保全計画について

要望 保全計画で積み残しとなつたものは今後の課題である。市民が一番望んでいるのは安心して暮らせることであるため、適切な維持管理費の確保を求める。

小さく、また地域経済のためにもなる。

答 本庁舎の建て替えについては、公共施設保全計画上の耐用年数である令和25年を目途に、8年度からの総合計画後期基本計画に位置付け、将来の庁舎の在り方を検討する。今後の人口減少、デジタル化による省スペース化、民間資金を活用した公民連携手法(例えばリース方式)による財政負担の平準化などが検討課題になる。

要望 市は地域通貨(OMOTANコイン)を導入して、地域でお金が回る仕組みをつくった。リー



多角的な庁舎建て替え手法の検討を



森林資源活用拠点の整備に向け慎重な検証を



新たな開発をやめない限り、 他の財源など生まれない



無所属 伊藤 大輔

一 学校給食無償化の財源について

問 国の学校給食費の無償化の動向をどう捉えているのか。

答 文部科学省において、「安定的な財源の確保」や「少子化対策としてより効果的な施策であるか」などの検討課題が整理され、本市でも同様に捉えている。

問 無償化が移住・定住促進に効果的かつ、自治体間の差別化要因になり得るとの認識はあるか。また、国が実施すべきとの意見に変わりはしないか。

答 給食の無償化は移住・定住に効果的かつ、自治体間の差別化に



企業や地域との連携で、女性と 子どもが住みやすいまちの実現へ



創和・市民 福森 真司

一 八潮市の道路陥没事故に伴う本市の対応について

問 下水道管と水道管の維持管理の状況はどのようなか。

答 日頃から道路管理者と情報共有を行い、異常が発見された場合は速やかに対応している。

要望 二次災害対策をはじめ、市内事業者と連携し、安全・安心の確保と持続的な運営に努め、適切な維持管理を継続してほしい。

二 女性と子どもが住みやすいまちづくりについて

問 企業や地域と連携した子育て支援はどのようなか。

答 父親を含めた産後うつや産後ケアに関する出前講座、出産・子育ての悩みを解消できる民間主導によるセミナーなどを実施し、安心して妊娠・出産・子育てができるよう努めている。

要望 地域全体で応援し、子育てに喜びと希望を持ち、秦野で子育てをして良かったと思える環境づく



秦野で子育てをして良かったと思える環境づくりの推進を

議会中継

(生中継・録画中継)

公開しています。

	R7年度予算に占める 普通建設事業費の割合
厚木市	13.8%
秦野市	11.2%
伊勢原市	10.0%
鎌倉市	9.6%
逗子市	9.1%
平塚市	8.8%
南足柄市	8.2%
小田原市	8.0%
藤沢市	7.8%
座間市	6.6%
横須賀市	6.2%

公共事業費(普通建設事業費)の割合は10市中2番目に高い

市開発へ積極的に投資をする財政方針である。公共事業費を年間約10億円削減すれば、無償化の財源に充てることができる。

3月定例会会議の議決結果

3月定例会会議では、令和7年度一般会計予算をはじめ32議案が原案可決、陳情4件が採択となりました。
※賛成全員の議案等を上段に、賛否が分かれた議案等を下段に記載しています。

≪賛成全員の議案等≫

区分	番号	件名 (資料は、秦野市議会ホームページでご覧いただけます。)	詳しくはこちら	採決の結果
市長提出議案	第7号	秦野市職員の自己啓発等休業に関する条例を制定することについて		可決
	第8号	秦野市職員の配偶者同行休業に関する条例を制定することについて		可決
	第9号	秦野市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正することについて		可決
	第12号	秦野市地域型保育事業の設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正することについて		可決
	第13号	秦野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正することについて		可決
	第14号	秦野市地域高齢者支援センターの人員等に関する基準を定める条例の一部を改正することについて		可決
	第15号	秦野市水道事業水道技術管理者及び布設工事監督者に関する条例の一部を改正することについて		可決
	第16号	秦野市下水道条例の一部を改正することについて		可決
	第17号	秦野市土地の埋立て等の規制に関する条例を廃止することについて		可決
	第19号	他の団体の公の施設の利用に関する協議について		可決
	第20号	令和6年度秦野市一般会計補正予算（第10号）を定めることについて		可決
	第22号	令和6年度秦野市水道事業会計補正予算（第2号）を定めることについて		可決
	第23号	令和6年度秦野市公共下水道事業会計補正予算（第2号）を定めることについて		可決
	第24号	令和6年度秦野市公共下水道事業会計補正予算（第3号）を定めることについて		可決
	第25号	令和6年度秦野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）を定めることについて		可決
	第26号	令和6年度秦野市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）を定めることについて		可決
	第27号	令和6年度秦野市一般会計補正予算（第12号）を定めることについて		可決
陳情	令7陳情第1号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情		採択
	令7陳情第2号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情		採択
	令7陳情第5号	訪問介護報酬引下げの撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出についての陳情		趣旨了承
議員提出議案	議提議案第2号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出について		可決
	議提議案第3号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出について		可決
	報告案件（5件）	専決処分の報告について（施設の管理瑕疵に係る損害賠償、市道の管理瑕疵に係る損害賠償、交通事故に係る損害賠償、工事請負契約の変更、秦野市情報公開条例及び秦野市市税条例の一部改正）		

≪賛否が分かれた議案等（※議長は採決には加わりません。）≫

○：賛成 ●：反対 退：退席

区分	番号	件名 (資料は、秦野市議会ホームページでご覧いただけます。)	 詳しくはこちら	採決の結果	志政会				創和会・市民クラブ				ともにつくる秦野				公明党	無所属								
					小菅基司	高橋文雄	風間正子	川口薫	今井実	相原学	中村知也	福森真司	横溝泰世	阿蘇佳一	大野祐司	八尋伸二	小山田良弘	大塚毅	古木勝久	原聡	桑原昌之	田中めぐみ	中村英仁	横山むらさき	間地薫	吉村慶一
市長提出議案	第1号	令和7年度秦野市一般会計予算を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○		○	○	●	●	
	第2号	令和7年度秦野市水道事業会計予算を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●	
	第3号	令和7年度秦野市公共下水道事業会計予算を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●	
	第4号	令和7年度秦野市国民健康保険事業特別会計予算を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●	
	第5号	令和7年度秦野市介護保険事業特別会計予算を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●	
	第6号	令和7年度秦野市後期高齢者医療事業特別会計予算を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		○	○	○	●
	第10号	秦野市手数料条例及び秦野市建築基準条例の一部を改正することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●	
	第11号	秦野市立学校の設置に関する条例の一部を改正することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	○		○	○	○	○
	第18号	負担付き寄附の受領について	可決	○	○	退	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	議長	○	○	○	●
第21号	令和6年度秦野市一般会計補正予算（第11号）を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●	●
陳情	令6陳情第16号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○		○	●	○	○	
	令7陳情第3号	全国の義務教育諸学校の給食費無償化の実施を求める意見書を国に提出することを求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	●	○	○	
	令7陳情第6号	子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）の健康被害に対する審査を実施することを求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●		●	●	●	○
議員提出議案	議提議案第1号	秦野市議会個人情報の保護に関する条例の一部を改正することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	退	
	議提議案第4号	ガソリン税の暫定税率撤廃を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	●	○	○	
委員会提出議案	委員会提出議案第1号	全国の義務教育諸学校の給食費無償化の実施を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	●	○	○	

広告

家族葬専用ホール「たんざわ」「月」「星」



外観イメージ



写真は一例です

事前相談、式場見学は
随時ご覧いただけます

セレモニーホール
富士見斎場

秦野市曾屋1011(秦野火葬場隣)
TEL 0463-84-0222

*本館でも家族葬を
施行いたします。



24時間365日受付

広告

銀八鰯

～真心込めて握ります～



銀八鰯本店

秦野市堀川30 ☎89-3232
水曜定休日(水曜休日の時は変更有)

◆次回の議会だより（令和7年8月中旬の日曜日発行予定）は、第2回（6月）定例会会議の概要などをお知らせします。